

科目名	都市と環境	X115	教養/都市・社会・環境	単位数	2	
担当教員	朝日 ちさと	後期	金曜日	2時限		
授業方針・テーマ	<p>都市や地域社会に暮らす私たちは、住民、通学・通勤者、消費者、納税者、生産者などの様々な顔を持っています。この授業では、多様な役割を担いながら生活する主体が、今日における環境問題をどのようにとらえ、環境をどのようにマネジメントすべきかを考察することをテーマとします。</p> <p>はじめに、戦後の環境問題の変遷を概観するとともに、環境のとらえ方とマネジメントの主体を整理します。次いで、個人が主体となるマネジメントとして経済的手法に焦点を当て、環境経済学の基礎、環境政策、各制度の評価手法を解説します。さらに、今日における環境マネジメントの手がかりとなるいくつかのキーワードや問題について、事例や手法を提示しながら考察を展開します。</p>					
習得できる知識・能力や授業の目的・到達目標	<p>都市・地域社会に暮らす私たちの役割の多様性・多元性を認識しながら、環境問題の変遷、環境マネジメントの制度や政策の意義及び限界、環境マネジメントの今日的な概念等を理解することにより、都市・地域社会と環境とのより良い関係を考えるための視点を会得することを目標とします。</p> <p>戦後の環境問題に関する知識、環境マネジメントの手法に関する知識、経済学的なもの見方の習得が期待されます。</p>					
授業計画・内容	<p>第1回 ガイダンス 第2回 環境問題の歴史 第3回 環境のマネジメントの基本 第4回 環境政策の制度設計(1)：環境経済学の基本 第5回 環境政策の制度設計(2)：法制度 第6回 環境政策の制度設計(3)：経済的インセンティブによる制度 第7回 環境政策の評価(1)：環境アセスメント 第8回 環境政策の評価(2)：環境の価値の経済的評価 第9回 環境政策の評価(3)：意思決定と多基準分析 第10回 都市と環境(1)：循環型社会 第11回 都市と環境(2)：都市の持続可能性 第12回 都市と環境(3)：都市のアメニティ 第13回 都市と環境(4)：環境文化災害 第14回 都市と環境(5)：社会的コンフリクト 第15回 まとめ</p>					
テキスト・参考書等	<p>テキスト：萩原清子編著(2008)『生活者からみた環境のマネジメント』(第2版)昭和堂 参考書：萩原清子編著(2013)『環境の意思決定支援の基礎理論』勁草書房 その他、必要に応じて講義の中で紹介します。</p>					
成績評価方法	<p>期末レポート[70%]、出席・参加[30%]</p>					
特記事項	<p>⇒変更：期末レポート[60%]、出席[10%]・小課題[30%]</p>					